

道徳「校風の理解」講演会

2021.6.3（木）

本校 OB で、かつて教諭（H6.4～H16.3）や教頭・副校長（H22.4～H26.3）として在職し、現在は常勤講師（H31.4～）として勤務している木戸明良先生から、「水戸一高の伝統とは ～自分が体験したこと～」をテーマにご講話をいただきました。

この講演会は、1年生が旧職員や卒業生等の講話を聴講し、水戸一高の歴史や伝統を学ぶ機会を持つことで、校是「至誠一貫」「堅忍力行」を理解し、校風を継承する一助とし、同時に自分の在り方や生き方を考えることをねらいとしています。

先生には、水戸一高で生徒・教員・管理職・現職の様々な立場で体験したことを通じて、水戸一高の伝統についてお話をいただきました。高校時代の「進路選択」、教諭時代の「学苑祭を制する者は受験を制す」、管理職時代の「東日本大震災での体験」、現在の「コロナ渦」等、熱心に語る先生のお話には生徒たちはじっと聴き入っていました。最後に「水戸一高の伝統とは」をテーマに、「変化を恐れず、今の時代に合わせた変革をおこなうこと」、「個性の尊重と自由な校風」、「至誠一貫」、「第一志望を貫くこと」について教えていただきました。

1年生にとって充実した講演会となりました。

